



オオムラサキの求愛飛翔 写真／佐々木幹夫

CONTENTS

- 02 海野和男が語るチョウの魅力**
オオルリシジミ
 - 04 チョウの絶滅と再導入**
イギリスにおけるアリオンゴマシジミ
 - 08 失われたチョウたち**
50年前(1961年)の長野県八ヶ岳農場～美濃戸
 - 14 保全活動レポート**
ギフチョウ／静岡県富士宮市
ウスイロヒョウモンモドキ／岡山県新見市
ミヤマシジミ／群馬県高崎市
オガサワラシジミ／東京都小笠原村
 - 16 虫たちの不思議な世界**
「フチグロトゲエダシヤク」
 - 18 チョウ類保全の科学アップデート**
 - 20 Action for Butterflies**
-
- 12 お知らせ**

チョウの舞う 自然

THE JAPAN BUTTERFLY
CONSERVATION SOCIETY
NEWSLETTER NO.14

日本チョウ類保全協会 会誌14号

表紙：クジャクチョウ



お盆を過ぎる頃、まだ暑さの残る高原にはタテハチョウの仲間の姿が増えてくる。オレンジの鮮やかなシートテハ、紫色のひきしまったキベリタテハ。なかでも数が多いのはクジャクチョウで、ブナ林の緑に咲き続くヨツバヒヨドリの花に、深紅の翅が点々と並ぶ。成虫での越冬を控え、移りゆく季節のなかで吸蜜に余念がない。

山形県蔵王山 2010年8月18日

写真・文／永幡嘉之